トーホーダイト

繊維接着工法

株式会社東邦アーステック

炭素繊維接着工法

炭素繊維の特徴である軽量・高強度・高弾性を応用した工法です。現場での切削加工が簡単であり、効果的な補強が出来ます。

SR-CF工法

炭素繊維シートを巻き付け独立柱の補強を中心に、さらに袖壁／腰壁／垂れ壁が付いた柱の補強に適します。

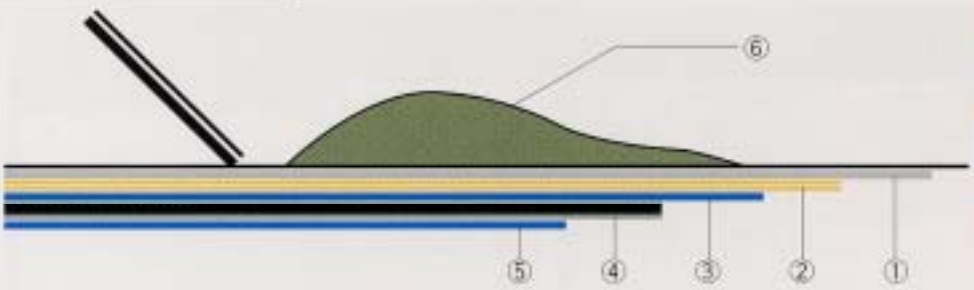
SR-CF施工

多軸組布シート接着工法

ガラス、ビニロン、アラミド、カーボンの各種の繊維を応用した三軸、四軸組布をコンクリート面に貼りつける事により劣化したコンクリート片が落下するのを防止します。

FDP工法

繊維シート補強工法



標準施工要領図

①プライマー
（トーホーダイトCF5）
②不陸修正材
（トーホーダイトS901）
③含浸樹脂
（トーホーダイトCF5P）
④繊維シート
（CF・アラミド・ガラス・ビニロン）
⑤含浸樹脂
（トーホーダイトCF5P）
⑥断面修復材
（イーグルクリートGL-4）

連続繊維巻き立て補強

主な用途	特　長
①既存柱に連続繊維を巻き立て、せん断破壊を防ぐ	①手作業で施工できる。補強材が軽量なので重機を必要としない ②工事に伴う作業スペースが少ない ③粉塵や騒音の発生が少ない ④工事期間が短縮できる ⑤鋼板巻き立てと同等の補強効果が期待できる

下地処理 → プライマー パテ材塗布 → 含浸材塗布 → 貼付け → 含浸材押え塗り → 仕上塗装

塗布量

	商品名	塗布量（g/m²）
プライマー	トーホーダイトCF5	200
不陸修正材	トーホーダイトS901	1,000～1,500
下塗り	トーホーダイトCF5・FC20	200～400
上塗り	トーホーダイトCF5・FC20	200～400

※この数値は目安です。

詳細は、各工法のカタログをご参照ください。

エポキシ樹脂

項目＼品名		CF5	S901	FC20	CF5P	試験方法
主な用途		プライマー	不陸修正材	多糟組布用	連続繊維シート用	
外観	主剤	淡黄色透明液状	灰色パテ状	灰色ペースト状	白色液状	目視（異物混入がないこと）
	硬化剤	黄色透明液状	白色パテ状	青色透明液状	青色液状	目視（異物混入がないこと）
混合比(主剤：硬化剤)	—	2：1	2：1	2：1	2：1	重量比
混合物比重	—	1.20±0.05	1.60±0.10	1.30±0.05	1.18±0.05	JIS K7112
混合物粘度	mpa·s	2,200±500	—	40,000以下	20,000以下	B型回転粘度計
可使時間	分	45以上	80以上	40以上	40以上	温度上昇法（250g）
塗膜硬化時間	時間	15以内	15以内	16以内	16以内	ガードナー式塗膜乾燥試験法
引張強さ	N／mm²	30以上	30以上	30以上	40以上	JIS K7113
曲げ強さ	N／mm²	50以上	40以上	40以上	40以上	JIS K7203
引張剪断接着強さ	N／mm²	10以上	10以上	10以上	10以上	JIS K6850
コンクリート付着強さ	N／mm²	1.9以上	1.5以上	—	1.9以上	建研式

(注－1) 硬化養生　20℃×7日間
(注－2) 測定値は20℃

※この数値は予告なく変更することがあります。

コンクリート剥落防止工法用アクリル樹脂

(低温速硬化性にすぐれた工法です)

項目＼品名		MP101	MS201	MA302		試験方法
主な用途		プライマー	不陸修正材	含浸材		
外観	主剤	褐色透明液状	灰色パテ状	赤褐色ペースト状		
配合比	主剤	100	100	100		重量比
	硬化剤	1～5	0.7～3.0	1～5		
	硬化促進剤	—	0.7～3.0	1～4		
	硬化促進剤	1～0.5	0～1.0	0～2		
硬化物比重	—	1.15±0.10	1.70±0.10	1.15±0.10		JIS K7112
粘度(主剤)	mpa·s	8±1	—	30,000±10,000		B型回転粘度計
可使時間	分	20以上	30～90	30～90		温度上昇法（250g）
引張強さ	N／mm²	—	—	30以上		JIS K7113
曲げ強さ	N／mm²	—	40以上	40以上		JIS K7203
引張剪断接着強さ	N／mm²	—	10以上	10以上		JIS K6850
コンクリート付着強さ	N／mm²	1.5以上	1.5以上	—		建研式

(注－1) 硬化養生　20℃×7日間
(注－2) 測定値は20℃

※この数値は予告なく変更することがあります。

取扱い上の注意事項

1 可使時間内に使い切れる量を調合して下さい。
2 主材・硬化材は、秤を用いて正確に計量して下さい。
3 主材・硬化材は、ハンドミキサーなどを用いてよく混合して下さい。
4 計量時以外は、容器の蓋を閉めておいて下さい。
5 開封後は、なるべく早く使い切り保管時間を過ぎたものは使わないで下さい。
6 取り扱うときは、保護手袋・マスクなどを着用して下さい。
7 換気に注意して、必要ならば強制換気をして下さい。
(詳しい製品の取扱いに関しては、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい)

地球市民として環境調和と快適創造をめざします
株式会社東邦アーステック
TOHO EARTHTECH INC.

ホームページ　http://www.tohoearthtech.co.jp

本　　社／〒951-8116 新潟市東中通一番町86-51（日本生命新潟東中通ビル）	電話 025(229)2121(代) FAX 025(229)2127
建設事業本部／〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町2-3（COMSビル）	電話 03(3464)6691(代) FAX 03(3464)6696
大阪営業所／〒530-0054 大阪市北区南森町2-1-20（フォーラム南森町）	電話 06(6313)1801(代) FAX 06(6313)1802
静岡営業所／〒422-8067 静岡市南町11-1（静銀・中京銀静岡駅南ビル）	電話 054(202)0133(代) FAX 054(202)0135
仙台営業所／〒981-3133 仙台市泉区泉中央3-18-1（ネットワークビル）	電話 022(776)7765(代) FAX 022(776)7769
新潟営業所／〒950-1123 新潟市黒鳥1437-1	電話 025(377)2711(代) FAX 025(377)2714
研究所・工場／〒950-1123 新潟市黒鳥1437-1	電話 025(377)2711(代) FAX 025(377)6820